

# 探鳥会 ここが見どころ聞きどころ

## 大授掬探鳥会

谷口秀樹

【日 時】 8月23日(日) 10:00~13:00

【集合場所】 佐賀県佐賀市東与賀 干潟よか公園駐車場

【リーダー】 谷口秀樹

新型コロナウイルスの自粛も解除され、久しぶりの探鳥会を行います。昨年は随分久しぶりに当地で行いました。暑いさなかの探鳥会でしたが、多くの鳥たちを見ることができました。さて、今年はどうなることでしょうか。

8月後半とはいえ、まだまだ夏の真っ盛りですが、ここで見られるシギ・チドリ類はすでに7月から秋の渡りが始まり、その数と種類を増やしています。ちなみに昨年は、以下の22種類を見ることができました。

アオサギ、ダイサギ、アオアシシギ、ハマシギ、トウネン、セッカ、ツバメ、ミサゴ、シロチドリ、オオメダイチドリ、メダイチドリ、ダイシャクシギ、ムナグロ、コアオアシシギ、ホウロクシギ、ソリハシシギ、ダイゼン、コサギ、スズメ、ハヤブサ、オグロシギ、カラシラサギ

目の前に広がる広大な干潟でひときわ目立つのは、大型のサギ類です。特にアオサギは色合いからツルとよく間違えられます。初めて諫早湾の干潟を見たときに本種を見てツルがたくさんいると勘違いしたことを思い出します。白鷺もその白さで目立ちます。ダイサギとコサギはその大きさの違いから間違えることは無いと思います。



走っては止まり、走っては止まりという動き（写真：ダイゼンとメダイチドリ）をしているのはチドリ類です。ハトくらいの大きさもあるダイゼンからスズメくらいのシロチドリまでが見られます。特にオオメダイチドリは諫早湾でも毎年見られていたものの締め切り工事以降全く見られなくなった鳥です。。しかし、当地では今でも毎年見られています。メダイチドリよりも一回り大きいその姿を探してみましょう。

その種類、数ともに多いのがシギの仲間です。大型のホウロクシギやダイシャクシギはコガモよりも大きい体つきをしています。また、嘴も長く下に曲がっています。色は褐色で地味ですが他のシギよりも大きいのですぐに分かります。

ここでは一番数の多いハマシギは増えてきているでしょうか。集団飛行をするとムク



(写真：ハマシギなどの群れ)

も見られる鳥ですが、この声を聞くと秋を感じる気になります。

ここへ行くには、高速道路を使うと便利です。佐賀大和インターを降り、佐賀市に向かって走ります。佐賀市に入ってから、そのまま直進し右手に佐賀大学を見ながらさらに直進します。T字路に当たるとそこは作出集落です。右にマックスバリューが見えます。その交差点を右折し200m位進むと「干潟よか公園」の道標が見えます。それに従い左折します。後は道標があるので、それに従い進むと集合場所の「干潟よか公園」に到着です。



(写真：アオアシギ)

干拓地には、日陰は一切ありません、帽子や日傘など日焼け対策と飲み物をお忘れ無く。繁殖を終え、南に向かう旅のひとつを干潟で過ごす鳥たちに会いに大授掬を訪れてみませんか。

